



目白大学 教養教育機構 2023年度版

# 目白大学の 共通科目

このパンフレットは、目白大学に入学した皆さんが、主に1年生～2年生で履修する「共通科目」について説明したものです。目白大学では「全学共通の『学士力』」を定めており、「人間性」、「社会性」、「知力」、「健康」、「向上心」の5つの要素から構成されています。共通科目では、これらの土台、基礎を養い、専門教育の学修へと、より円滑に接続したり、生涯にわたって活躍するための基礎的な能力を身に付けたりすることを目指しています。

このパンフレットから、それぞれの区分・科目がどんなことを目的に開設されているのか、そしてそれぞれの区分・科目の学修を通じて何を身に付けていくのか確認して、是非主体的にそれぞれの科目の学修に臨んでみましょう。

## 1 共通科目とは

目白大学新宿キャンパスで開講している共通科目は、「人間性」、「社会性」、「知力」、「健康」、「向上心」の5つの資質・能力から構成される目白大学の「学士力」を養う手段として、主に1年生～2年生を対象とした科目群です。

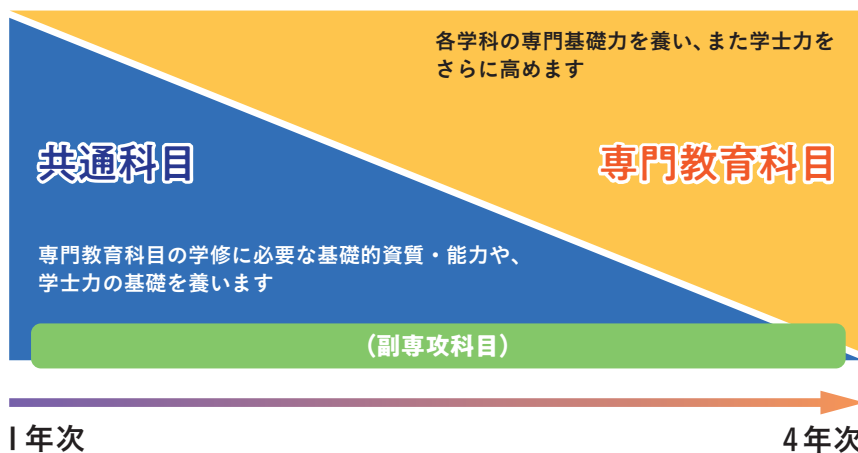
科目区分は、「初年次セミナー」、「総合科目」、「国語」、「外国語」、「情報活用演習」、「スポーツ・健康」、「キャリアデザイン」、「副専攻ゼミ」、「外国語としての日本語」の計9区分あり、以下の要件に沿って履修していく必要があります。

科目区分		開講科目数	開講科目のうち卒業要件
初年次セミナー		2 科目	2科目2単位 必修
総合科目	分野横断科目	6 科目	1科目2単位 選択必修
	学際科目	13科目	1科目2単位 選択必修
	異分野入門科目	11 科目	1科目2単位 選択必修
	グローバル課題探求科目	4 科目	
基礎教養科目		13科目	
国語		5 科目	2科目4単位 必修
外国語	英語(必修)	5 科目	5科目5単位 必修(英米語学科、中国語学科、韓国語学科を除く)
	英語(選択)	6 科目	
	第二外国語	20科目	
情報活用演習		7 科目	2科目4単位 必修
スポーツ・健康		5 科目	2科目2単位 必修
キャリアデザイン		6 科目	2科目2単位 必修
副専攻ゼミ		4 科目	(全科目卒業要件外)
外国語としての日本語		20科目	(日本語を母語としない学生のみ履修可)
卒業するのに必要な共通教育科目の最低単位数			上記のほか自ら選択する単位を合わせて28単位*

※外国語学部英米語学科、中国語学科、韓国語学科は22単位。  
※その他詳細な要件については、学生便覧を参照すること。

## 2 目白大学での4年間の学び

目白大学での4年間の学びは、主に「共通科目」と「専門教育科目」にわかれています。1年次は目白大学新宿キャンパスの学生が共通に学ぶ共通科目が多く、各学部・学科の専門教育科目は少なくなっています。これは、2年次以降に増えていく専門教育科目に向けて、共通科目で大学での学修に必要な基礎的資質・能力を身に付けたり、学士力の基礎を身に付けたりするためです。2年次以降も共通科目はありますが、各学部・学科の専門教育科目が多くなっていきます。1年次に身に付けた資質・能力を基礎に、専門的な教育内容を学修し、各学科の専門基礎力を養い、また目指す学士力に向けてさらに能力を高めていくことができるようになっていきます。



# 3 各科目区分の概要

## 1. 初年次セミナー

初年次セミナーは、「ベーシックセミナーⅠ」(1年春)と「ベーシックセミナーⅡ」(1年秋)の2科目です。大学での学修や生活をよりスムーズに、より見通しをもって、よりよく過ごしていけるよう、大学生生活の「基礎・基本」を各学科の1年生担任の先生方を中心に指導し、また実際に皆さん自身で考えていきます。大学生生活の目標を立てたり、先輩や卒業生の方のお話を聞いたり、図書館の活用の仕方を学んだり、議論の仕方を学んだり、ときにはグループで調べ学習をして発表したりします。学修を通じ、自ら主体的に行動する力や、学修の技法、仲間と協働し課題を解決する力の基礎を養います。

## 2. 総合科目

総合科目は、「分野横断科目」、「学際科目」、「異分野入門科目」、「グローバル課題探求科目」、「基礎教養科目」の5区分があります。

### 2.1. 分野横断科目

分野横断科目は、1年次に配当している科目です。「大学生活と学問」、「『目白大学』を知る」、「持続可能な社会を考える」といった、大学生としての教養の基礎を作る6科目を開設しており、1科目が選択必修となっています。学問することへの関心を高め、大学で学修するとはどういうことか、学問とはどのようなものか、学問を通じて社会をどう見たらよいかについて、理解し、また考えを深めます。

### 2.2. 学際科目

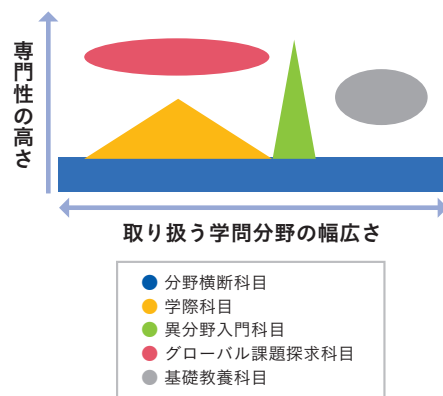
学際科目は、2年次に配当している科目です。「学際」とは、複数の異なる学問分野をまたぐ包括的な考え方です。幅広い視野からさまざまなものの見方や考え方を身に付けたり、学問的・社会的に重要なテーマについて多角的な視点から考えたりします。「感性を磨く芸術論」、「知の対象としての恋愛」など計13科目を開設しており、1科目が選択必修となっています。

### 2.3. 異分野入門科目

異分野入門科目は、2年次に配当している科目です。異分野入門科目では、自身が所属する学部以外の科目を履修し、他学部・他学科の専門分野について学ぶことを通じ、幅広い教養と多角的な見方を体得することを目的としています。「心理学入門」、「現代教育入門」、「言語学入門」など11科目を開設しており、1科目が選択必修となっています。

### 2.4. グローバル課題探求科目

グローバル課題探求科目は、2年次以上の学生が履修できる選択科目です。今日私達が直面しているグローバルな課題を取り上げ、様々な学問的背景からその問題を見つめ、問題の本質や解決の展望ないし糸口を見出す力を養います。「グローバルな視点で学ぶ社会と人間」、「自然科学的な視点から地球環境問題を考える」など4科目を開設しています。



## 2.5. 基礎教養科目

基礎教養科目は、1年次以上の学生が履修できる選択科目です。13科目を開講しています。人文社会系教養の基礎となる科目群から成り、各学部・学科の専門分野と関連し、自身の興味のある科目を履修することができます。また、基礎教養科目の一部は、教員免許状をはじめ、資格の取得要件となる科目もあるため、皆さんが取得したい資格に合わせて履修が必要となる場合もあります。

## 3. 国語

「国語」は、大学生はもとより、社会人にも求められる日本語の高度な読解力と表現力を養うための科目群です。必修科目としては、多種多様な文章事例を読むことにより、基礎的な読解力と語彙力を養成する「国語基礎演習Ⅰ」(1年春)と、論理的な文章を書くための文章表現力、口頭発表やプレゼンテーションに必要な口頭表現力を養成する「国語基礎演習Ⅱ」(1年秋)の2科目があります。さらに、より高度で実践的な読解力と表現力を養成していくために、「国語応用演習(読解)」、「国語応用演習(表現)」、「専門レポート基礎演習」の3科目を、2年生以上で履修可能な選択科目として開講しています。

## 4. 外国語

「外国語」は、区分としては1つですが、必修の「英語」と選択科目の「英語」、「第二外国語」があります。

### 4.1. 英語(必修)

必修の英語科目では、国際共通語としての英語の高度な運用能力を養うとともに、グローバル社会において創造的で自立した市民として行動するための論理的思考力や異文化理解力を育むことを目的としています。英語の読解力を養う「英語基礎(Fundamentals of English)Ⅰ,Ⅱ」(1年次)、[読む・書く・聞く・話す]の4技能を統合的に養う「総合英語(Integrated English)Ⅰ,Ⅱ」(Ⅰ:1年次、Ⅱ:2年次)、個々の専門分野における専門英語の基礎を学ぶ「専門基礎英語(Basic English for Special Fields)」(2年次)の5科目を開講しています。



### 4.2. 英語(選択)

選択の英語科目では、創造的で自立した市民の育成のために、1年次から履修できる科目として、英語試験に備える「English Test Strategies」、2年次から履修できる科目として、現代口語英語の語法を学ぶ「Practical English Grammar」、ニュースの概要作成を通して聴解力と作文力を同時に養う「Communicative Listening and Writing」、商業場面での英語表現を学ぶ「Business English」、映画を通して英語の音に慣れ、語彙を増やす「Film English」を用意しています。



### 4.3. 第二外国語

第二外国語は、中国語、韓国語、インドネシア語、フランス語、ドイツ語、スペイン語を開講しています。こうした言語の学修を通じ、ことばそのものの成り立ちと、その言語が使われる地域の文化、社会、政治、経済などへの理解を深めます。それぞれの言語について、「中国の言語と文化」をはじめとする、言語とその言語圏の文化に関する講義科目があり、各言語について学ぶ演習科目と連携をしています。英語以外の言語の学修をすることで、多様な世界に目を向け、複眼的な視野を養うことも目的のひとつです。

## 5. 情報活用演習

情報活用演習は、コンピュータやネットワークの特性を理解し、これからの時代に必要となるAI・データサイエンスの基礎知識や、これらを活用して様々な課題を解決する基盤となる力を身に付ける科目群です。1年生の必修科目「情報活用演習Ⅰ」と「情報活用演習Ⅱ」では、これからの大学生活で必要となる情報機器やアプリケーションの利用を含め、情報を収集・整理・分析する力を身に付けることから、AIやデータ利活用の方法や仕組みを理解し、様々な分野における活用法を考える力を養います。2年生からは、プログラミングやロボットを利用した、より高度な情報活用能力を養う選択科目を開設して、段階的に知識や技能を身に付けることができます。



## 6. スポーツ・健康

スポーツ・健康科目は、社会のどのような分野でも活躍できる力を養うために、実技科目3科目、講義・演習科目2科目の5科目が設置されています。「生涯スポーツ1」(1年必修)、「健康科学」(1年必修)では、自身の健康についての問題解決や管理方法、定期的な運動習慣を身に付け、「生涯スポーツ2」、「生涯スポーツ3」(2年選択)、「健康科学演習(心とからだ)」(2年選択)で身体を動かす楽しみや生涯スポーツへの実践能力を身に付けます。これらの科目を通して、スポーツやトレーニングを通じて身体機能及び精神面に与える効果を知り、身体を動かす楽しみや、生涯スポーツへの実践能力を身に付けることを目的としています。



## 7. キャリアデザイン

キャリアデザイン科目は、皆さんが「働く」ということを自分事として考え、将来社会に出るための準備をしていくための科目です。2年次科目<sup>※</sup>として「専門とキャリアA・B」や「キャリア演習」が、3年次科目として「仕事と社会」があります。また、1・2年次のうちにインターンシップを経験できる「キャリア研修Ⅰ・Ⅱ」も用意されています。各学科によって就職先の傾向が異なるため、「専門とキャリア」では学科教員や卒業生から就業体験を聞くプログラムなどが組まれています。就職に向けた準備のためのノウハウ提供ではなく、自身のキャリア形成に役立つ知識や心構えを学ぶことで社会人基礎力を身に付けてもらうことを目的としています。

※韓国語学科は専門とキャリアAが1年次、専門とキャリアBが3年次です。

## 8. 副専攻ゼミ

副専攻ゼミ科目は、卒業要件にはなりません。次の6ページ目、7ページ目で紹介する「SDGs副専攻」、「DX副専攻」の修了要件で、副専攻ごとに「基礎セミナー」と「特別セミナー」の2科目を開設しています。

## 9. 外国語としての日本語

外国語としての日本語は、日本語を母語としない学生対象の科目です。「総合日本語」「専門日本語」では、日本語でのプレゼンテーションの方法やアカデミックなスタイルでレポートや小論文を書く方法を学びます。また、日本語能力試験(JLPT)の対策として、「検定日本語」も開設しています。これらの科目の学修を通して、専門教育科目を受講するのに必要な高度な言語知識(読解・漢字・語彙)および日本語表現力(口頭・文章)を養成します。

## 4 目白大学の「副専攻」

### 副専攻とは

目白大学では新宿キャンパスの学部生を対象に「SDGs副専攻」と「DX副専攻」の2つの副専攻を設置しています。卒業時に、皆さんが所属する学科の卒業要件を満たしたうえで、副専攻の修了要件も満たすと、学位記とは別に「副専攻修了証」が授与されます。変化の激しいこれからの社会を生き抜いていくうえで必要となるどの学問分野にも共通の資質・能力を、それぞれの学問分野と往還しながら養うことを目的としています。どちらの副専攻も修了要件に「副専攻セミナー」の履修があり、様々な学科の学生同士で集まるゼミで共に課題を追求しながら、複雑化する社会で仲間と協働し、積極的に活躍できるリーダーを育みます。

### SDGs副専攻

#### ✓ SDGs副専攻をこんな人にとってほしい！

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」と訳され、「エスディージーズ」と読みます。2015年の国連サミットで採択された、持続可能な社会と未来を実現するために私達みんなが取り組むべきとされる世界共通の行動目標です。「貧困をなくそう」、「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「ジェンダー平等を実現しよう」、「気候変動に具体的な対策を」など、全部で17の目標（ゴール）から構成されています。いまや政府、自治体をはじめ、企業、市民団体、教育機関など、各界において関心が高まり、多様なアクターの連携・協力のもと、国内外で取り組みが本格化しています。SDGs副専攻では、こうした世の中の動きや社会的諸課題に広く関心を持ち、それを自分事として捉え、知識の習得はもとより、課題の解決に向けて行動したい、主体的・積極的に社会に関わり貢献したい、といった意欲的・活動的な人を求めます。

#### ✓ SDGs副専攻のカリキュラム

必修科目は、指定の総合科目2科目と副専攻セミナー2科目、合計4科目です。選択科目は、SDGsの17のゴールを3つにわけた第Ⅰ群・第Ⅱ群・第Ⅲ群があり、それぞれから2科目以上、合計6科目以上履修します。選択科目は共通科目として開講されている科目のみでも満たすことができますが、開放科目の場合、自分の学科以外の専門科目も履修できます。SDGs副専攻全体で20単位の取得が必要です。

科目区分	科目名	科目配置学科	年次	単位数	修了要件	
必修科目	総合科目	持続可能な社会を考える	共通科目	1	2	2科目4単位 必修
		グローバルな視点で学ぶ社会と人間	共通科目	2	2	
	副専攻セミナー	SDGs基礎セミナー	共通科目	3	2	2科目4単位 必修
		SDGs特別セミナー	共通科目	3	2	
選択科目	第Ⅰ群	現代の社会福祉 ほか14科目		1～3	2科目4単位 選択必修	
	第Ⅱ群	未来を拓くイノベーション ほか15科目		1～3	2科目4単位 選択必修	
	第Ⅲ群	社会生活のデザイン ほか14科目		1～3	2科目4単位 選択必修	



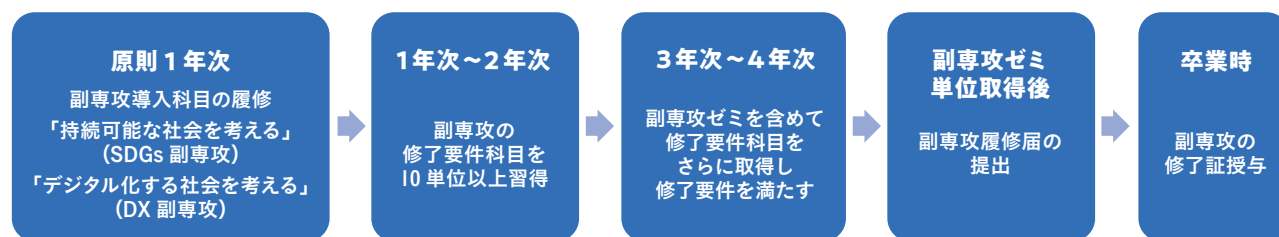
#### ✓ SDGs副専攻を修了後に想定される社会での活躍

SDGs副専攻では、サステナビリティとフィールド教育の視点から、自分の「主専攻」以外の分野も幅広く学びながら、ものごとのつながりや関係性・多様性を認識することで、私たちを取り巻く社会や世界を構造的に捉えるシステム思考と問題発見力を養います。将来ビジネスやコミュニティにおいて、リーダーシップとパートナーシップをもって活躍できる、持続可能な社会を構築する担い手、人材を育成します。

#### ✓ SDGs副専攻を学ぶメリット

SDGs副専攻は、様々な学部・学科がある目白大学ならではの学際的カリキュラムです。SDGsについて体系的・段階的に学ぶことができます。副専攻セミナーは、SDGs副専攻希望者だけが履修することができるトップアップ型のアドバンスト・プログラムで、多くの学びがあります。

## 副専攻修了の流れ



※各副専攻の詳細やカリキュラムは、学生便覧をよく確認してください。  
※履修届等の手続きについては、学生へのお知らせで随時配信するので確認を怠らないこと。

## DX 副専攻

### ✓ DX 副専攻をこんな人にとってほしい！

DXとは、デジタル・トランスフォーメーション(Digital Transformation)の略称で、AI(人工知能)などのデジタル技術(情報通信技術)を用いて、人々の生活をより豊かでより良いものに変革することです。ここでいう変革とは、効率化にとどまらず、仕事のやり方から社会のあり方まで、抜本的に変えていくことを指します。現在、私達の社会は、あらゆる領域でDXによる大きな変革が進んでいます。そのような中、無くなる職業や仕事がある一方、デジタル技術を活用した新たな社会のあり方や、新しい社会にふさわしい製品・サービスをデザインし、新たな価値を生み出すことができる人材が求められています。こうした社会の要請に応えるため、DX副専攻では、デジタル技術について体系的に学修します。また、デジタル技術がどのような場面で、どのように使われ、そしてどのように活用できるかを学びます。そうした知識や考え方を身に付け、文系DX人材として社会の課題を発見・解決し、社会の変革を自ら進めていきたいと考える積極的な人を求めます。

### ✓ DX 副専攻のカリキュラム

必修科目は、指定された総合科目2科目、副専攻ゼミ2科目、情報活用演習科目2科目の、合計6科目です。選択科目は、データ活用・デジタル技術を学ぶ科目区分の共通科目および専門科目から2科目4単位以上、背景を学ぶ科目区分の共通科目および専門科目から1科目2単位以上、DXの現場について学ぶ科目区分の共通科目および専門科目から1科目2単位以上を履修します。DX副専攻全体で20単位以上の取得が必要です。選択必修科目となっている専門科目は各自の所属学科が開講している科目のみ履修することができます。

なお、副専攻ゼミを履修するには、副専攻ゼミ以外の科目のうち、5科目以上取得済みでなければなりません。

	科目区分	科目名	科目配置学科	年次	単位数	修了要件
必修科目	総合科目	デジタル化する社会を考える	共通科目	1	2	1科目2単位必修
	マインド	問題解決・思考法	共通科目	2	2	1科目2単位必修
	副専攻セミナー	DX基礎セミナー	共通科目	3	2	2科目4単位 必修
		DX特別セミナー	共通科目	3	2	
	データ活用・デジタル技術を学ぶ	情報活用演習Ⅰ	情報活用演習Ⅰ	共通科目	1	2
情報活用演習Ⅱ			共通科目	1	2	
選択科目	データ活用・デジタル技術を学ぶ	情報活用演習Ⅲ ほか20科目		1～3		2科目4単位 選択必修
	背景を学ぶ	社会生活のデザイン ほか13科目		1～3		2科目4単位 選択必修
	DXの現場について学ぶ	現代経営入門 ほか10科目		2～3		2科目4単位 選択必修

### ✓ DX 副専攻を修了後に想定される社会での活躍

DXによる変革が進む社会では、高度なプログラミング技術習得者のようなデジタル技術を開発する人材と、デジタル技術を活用して、価値を生み出し、社会を変革する人材が必要です。DX副専攻は、デジタル技術の活用によって社会を変革できる、デジタル技術活用人材を育み、社会の中で新たな価値を創造する担い手を輩出します。



### ✓ DX 副専攻を学ぶメリット

現代社会で、DXに無関係でいられる人はいません。DX副専攻で学んだ知識を土台として、自らの専門領域においてDXを進め、新しい価値を生み出すことで、それぞれの領域で大いに活躍できる人材を目指せます。

## 5 学修と評価

### 「シラバス」と「ナンバリング」

目白大学で開講しているすべての授業には「シラバス」があります。シラバスには、各授業の目的や、授業概要などが記載されています。大学では、皆さんが自ら選択して履修する科目が多くあります。開講される様々な科目から、自分がどの科目を取りたいか考える際には、シラバスをよく確認してから履修するようにしましょう。

また、シラバスを見ると、科目名の下に「科目ナンバリング」というものが入っています。一定のルールに従って、すべての科目はナンバリングされており、共通教育科目に関しては以下のようなルールでナンバリングしています。区分内では連番になっていることが多いですが、赤字で示した「学士力における重点」は、区分内でも科目によって異なります。「学士力における重点」とは、その科目が学士力の特記の内容を扱うかによって分けられており、「人間性」が1、「社会性」が2、「知力」が3、「健康」が4、「向上心」が5となっています。共通教育科目を履修する際は、この「学士力における重点」がどれかに偏らないよう、まんべんなく履修するとよいでしょう。なお、専門教育は、図で示した「科目区分」、「細分」、「学士力における重点」の部分、学部・学科の専門基礎力によってナンバリングされています。



### 単位認定による評価とアセスメント

授業を履修登録して学修し、出席の要件等を満たし、また学修を通じて身に付けてほしい力が身に付いたと教員が判断した場合、単位が認定され、「S」、「A」、「B」、「C」（科目によっては「N」）の成績で評価されます（「D」は不認定）。成績が発表されたら確認し、自分がそれぞれの科目をどの程度理解できたかを振り返り、次の学修につなげていくことが大切です。

一方でそれぞれの科目の評価とは別に、【様々な科目の学修など大学生活全体】を通じて、どんな力が身に付いたかを確認、次の学びにつなげてもらうために「アセスメント」も実施しています。目白大学では、「英語」（1年次と3年次の2回）、「国語」（1年次と2年次の2回）、「社会人基礎力」（2年次）のアセスメントを実施しています。自分の力を確かめ、過去の結果との変化を振り返り、今後の学修の参考にすると良いでしょう。

## 6 困ったときは

### 学生相談室

学生時代は、いろいろと悩みごとの多い時期です。さまざまな悩みや問題を抱える可能性は誰にでもあります。しかし、悩みは成長へのサインであり、自分を見つめなおす大切なきっかけです。学生相談室は、学生のみなさんが抱える問題や悩みを解決するお手伝いをしていきます。



学生相談室 URL



### その他相談先

- ▶ 学籍や各種証明書、学費、奨学金、学生生活などに関すること
- ▶ 障がい等学生支援に関すること

学生部 学生課（兼：障がい等学生支援 担当） 10号館1階  
TEL: 03-5996-3123 | 受付時間：平日9:00-17:00 | Mail: colgakusei@mejiro.ac.jp

- ▶ 健康診断、麻疹（予防接種）の証明などについて

新宿キャンパス保健室 1号館1階  
| 対応時間：平日9:00-17:00 | Mail: hoken@mejiro.ac.jp

- ▶ 授業、履修登録、成績などに関すること

教務部 教務課 10号館1階  
TEL: 03-5996-3122 | 受付時間：平日9:00-17:00 | Mail: colkyomu@mejiro.ac.jp

- ▶ 教員免許状の取得（教職課程）について

教務部 教務課内（資格担当） 10号館1階  
TEL: 03-5996-3159 | 受付時間：平日9:00-17:00 | Mail: sikaku@mejiro.ac.jp

- ▶ その他資格取得全般について

就職支援部 1号館1階  
TEL: 03-5996-3124 | 受付時間：平日9:00-17:00 | Mail: colshinro@mejiro.ac.jp